



令和6年 はたちのつどい



上記の集合写真は2月29日（木）まで、社会福祉センター窓口にてお渡しします。



「はたちの誓い」を述べた伊良和葉さんと手塚壘さん 川島教育長から記念品を受け取った石川星奈さん 「町民憲章」を朗読した千葉日菜乃さんと岩淵鍊さん



新たな門出 感謝を胸に飛躍を誓う

1月7日「令和6年はたちのつどい」が社会福祉センターで開かれました。式には対象者55人のうち36人（男性12人、女性24人）が出席し、旧友との再会を楽しみながら新たな門出一層の飛躍を誓いました。

式では川島眞澄教育長が「地球温暖化や気候変動など、環境問題に向き合う人材が求められています。高い志と柔軟な発想で、新たな時代の主役となることを期待しています」と致辞。続いて、来賓の棚野孝夫町長と富田忠行町議会議長がそれぞれ祝辞を述べました。

出席者を代表し、千葉日菜乃さんと岩淵鍊さんが町民憲章を朗読。伊良和葉さんと手塚壘さんが「社会人としての責任と義務を果たし、まちづくりに貢献できるよう頑張ります」と誓いの言葉を述べました。また、芳澤真瞳さんと根本真菜さんが両親に感謝の言葉を述べました。

最後は、情操教育指導者の山田陽子さんと斉藤弥音さん、白糠手話の会が「お祝いの演奏」で新成人の門出に花を添えました。

感謝の言葉

根本真菜さん

この場に立てているのは、いつも支えてくれた家族がいたから。今は挑戦を恐れず、目標に向かって歩んでいます。人との関わりを大切に、誰かの支えになれるよう精進します。



芳澤真瞳さん

こうして成人の日を迎えられたのは両親や皆様のおかげ。これからは大人としての自覚を持ち、他の人を支えられる社会人になれるよう頑張っていきたいと思います。

